

山梨県理学療法士協会ご所属の先生方

謹啓

厳しい暑さが続いておりますが、先生方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、第43回東京都理学療法学会を、9月14日～15日に開催する運びとなりました。本学会は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことを受け、完全対面開催とし、少し規模を大きく企画しております。

そのため、都士会会員だけでなく、近隣の県士会の先生方にも、是非ともご参加いただきたく、ご案内させていただきました。

パンフレットとプログラムを同封いたします。講演、シンポジウム、教育セミナーなど27の特別セッションを設けており、先生方にご満足いただけますよう、鋭意準備を進めているところでございます。

詳しくは学会ホームページ「www.tsunagu-43.tokyo」をご覧ください。

会場は、JR新宿駅から電車と徒歩で15分程度、あるいはJR原宿駅から徒歩23分となります。

事前受付は日本PT協会のホームページより、セミナー番号「128919」で開始しております。先生方のご来場を心よりお待ちしております。

今後ともご指導のほどを何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

第43回東京都理学療法学会

大会長：今井覚志（慶應義塾大学病院）

準備委員長：渡辺重人（東京リハビリテーションセンター世田谷）

主なプログラム

【講演】

1. 樋口貴広先生（東京都立大学）：歩行の視覚運動制御
2. 辻哲也先生（慶應義塾大学）：進化するがん医療：がんのリハビリテーションの未来
3. 名倉武雄先生（慶應義塾大学）：スポーツ・整形外科診療に役立つバイオメカンの基礎知識：イメージング研究のすすめ
4. 近藤國嗣先生（東京湾岸リハビリテーション病院）：回復期リハビリテーション医療におけるエビデンスの活用と未来
5. 斉藤秀之先生（日本理学療法士協会）：みんなでつなぐ理学療法のエビデンス
6. 吉田和生先生（慶應義塾大学）：生成 AI を活用した新しい時代の臨床と研究
7. 神谷健太郎先生（北里大学）：心不全とフレイル（仮）
8. 千葉哲也先生（玉川病院）：呼吸器疾患の運動を考える
9. ファン・ウク先生（ウンナム療養院長、ソウル士会）：超高齢化社会の老人療養施設における理学療法士の役割とビジョン

【メインシンポジウム】

1. 山田実先生（筑波大学）：社会に貢献する理学療法研究の始め方、進め方
2. 金子文成先生（東京都立大学）：臨床に活かす情報の精査－論文・教科書の選び方、読み方
3. 相澤純也先生（順天堂大学）：治療効果を高めるクリニカルリーズニング

【教育セミナー】

1. 秋保光利先生（東京医療学院大学）：動脈血圧ガス分析と呼吸機能検査を見る
2. 清塚鉄人先生（三宿病院）：神経疾患における脳画像の見方～CT・MRI から疾患を紐解く～
3. ハシチウオヴィッチ トマシュ先生（東京慈恵会医科大学第三病院）：PT の専門性が生きるチーム医療：APS
4. 北地雄先生（総合東京病院）：症例検討の始め方、進め方

【シンポジウム】

1. 膝 ACL 損傷のスポーツ理学療法－多様性を考慮したアプローチ
2. みんなでつなぐ理学療法のエキスペリエンス－経験の伝承
3. 子どもの健康・スポーツと理学療法
4. ニューロリハビリテーション：歩行機能の再建
5. 地域リハビリテーション

【公開講座】

1. 梅村悟先生（ライオンズ整形外科クリニック）：目指せプロ野球選手！小学生に必要な今日からできる3つのこと

【ワークショップ】

【パラスポーツ体験】

【交流広場】